平成22年度事務事業評価シート 平成22年 6月 9日 作成

1							半 及			作成
事務事業	■サービス部	市氏-30		戸籍•住基一般事務			ザイムスコード及び個別事業名			
No./名 称	口支 援 部門						518	<del>                                     </del>	事務	
主管課	市民課 関連課 人							521		·印鑑事務
分野名	行財政運営 行財政運営							1157	サービスコー	ナー運営事業
目標	市民生活の根幹を築く行政事務の効率的運用と一層の市民サービスの向上を目指す。									
(目標値)	<u>市民生活の根幹を築&lt;行政事務の効率的運用と一層の市</u> データ区分┃   21年度  ┃  20年度						<u>可上を日指す。</u> 昔 考			
人口等の データ	人口	176,669人		176,484人		·各年4				
) — 3	世帯数	78,131世帯		77,430世帯			基本台帳)			
	E 11 9X	140,579人		146,160人						
運営資源	決算値			55,716千円		21年度	負担金等			
状 況	(国・県)	1,943千円		2,343千円		は、市民サービス		指標と評価		
	(負担金等)	8,970千円		8,970千円		コーナー敷金返還 金		指標 土曜日窓口の利用者数		の利用老粉
	(一般財源)	47,469千円		44,403千円		1 <u>1</u> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		指標	土唯口总口 	の利用有数
	人員配置数	23.0人		22.0人				評価	(	)
	人件費	202,321千円		199,690千円					0	
	協働の							◎目標を達成 〇目標に向かって前進 △横ばい ×後		
	パートナー								目標値	実績値
事務事業 運営経費	総事業費	260,703千円		255,406千円				20年度	14,000人	4,452人
	市民1人当 りの経費	1,476F	円	1,447円				21年度	14,000人	5,124人
	対象者1人 当りの経費	1,854円		1,747円				22年度	14,000人	
ベンチマー	団体名							23年度		
ク(県内外自 治体や民間								23年及		
団体との比								最終年度		
較値)								(年度)		
		(21年度事務)	<u>車業を宝</u> 1	<u> </u>	百. 問見	百占什 人	この トラカニ トフ			
	課題·問題 点	〇土曜日開 円滑な平日 〇平成24年 台帳への外 能性がある。	庁の市民 業務運営 度実施予 国人登載	施するうえでの課題 民への周知及びか 宮の確保。土曜日 予定の住民基本で 成、入管・住記シ	人件費 開庁E 分帳法 ステ <i>ム</i>	等との類様の関係では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	費用対効果の 系各課との連 伴うシステム 携)これに伴し	<mark>ごしたか)</mark> の向上並びに 携について。 改修が必要と い今後、土曜	となってくる。	(住民基本 数が減る可
		〇土曜日開 円滑な24年 台帳性がある。 〇土曜時がある。 〇土曜春の必 〇土曜春の必 〇運営に努	庁 の 市 実 度 国 。 テ 一 に に と の っ で 性 に の に 性 に に に に に に に に に に に に に	民への周知及び人 宮の確保。土曜日 予定の住民基本は 式、入管・住記シ 修にあたり、関連 では、広報・ホー ある。 いては、大規模が	人件所は 建二人 改善 は ない とり は は は は は は は は は は は は は は は は は は	等との 時の関係 さとの も含めが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	費用対効果の 係各課との連 伴うシステム 携)これに伴い こ改修の周知 こより周知を図 こより周知を図	でしたか) の向上並びに 携について。 改修が必要と ない今後、土曜 及び条例・規 図り、効率的な ムの影響度	となってくる。日開庁の日見則等の改正な人員配置を	(住民基本数が減る可能)
	点 創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の	〇土曜日開 円滑では24年月 台帳性が記 〇土曜日のの 〇土曜日開 お、住記営に事務 (21年度事務	庁業度国。 テの務実人 のでで に要ムた。 のではに。 のではので 事業の取	そへの周知及び人 宮の確保。土曜本 成の住民基本は 成、入管・住記シ にあたり、関連 いては、広報・ホー ある。 いては、大規模が 組において対応(	人開帳テ 課 ム 改 みつい では 解決 で	等との 時の関係 さとの も含めが ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	費用対効果の 係各課との連 伴うシステム 携)これに伴い こ改修の周知 こより周知を図 こより周知を図	でしたか) の向上並びに 携について。 改修が必要と ない今後、土曜 及び条例・規 図り、効率的が ムの影響度	となってくる。日開庁の日見則等の改正な人員配置を	(住民基本数が減る可能) (住民基本では、) (住民基本を対象が減る可能を) (住民基本を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を
夫·課題等	点 創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の	〇十年日 一十年日	庁業度国。テー庁必テめ事課 の務実人 の に性に。のの ででである。 では、 では、 でいまでは、 でいまでいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいま	民への周知及び人 宮の確保。土曜日 予定の住民基本は 式、入管・住記シ 修にあたり、関連 では、広報・ホー ある。 いては、大規模が	人開始ス 連一人な 解い用は骨庁法と 等 ペ 修 つる 治実	等との関係できる。 きょう かっこう かんしてい かんしてい かんしてい かんしてい かんしてい かんしてい かんしてい かんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんしん いんし	費用対効果の 係各課との連絡 (件うシステム 携)これに伴い ことの とひり 問知を ことからシステ かたものはどの から で な で な で で で で で で の は で の に に に に に に に に い に の に に い ら い ら い ら い ら い ら い ら い ら い ら い ら	でしたか) の向上並びに 携について。 改修が必要と ない今後、土曜 及び条例・規 取り、効率的な ムの影響度 ようなことです 応等、利用	となってくる。 日開庁の日 見則等の改正 な人員配置を 調査を行い中 が)	(住民基本数が減る可能である) (住民基本数が減る可能である) (日本のでは、) (日本のでは
夫·課題等	点 創意・工 夫・課題等 の改集 21年度の成果 未解決の課	〇円〇台能〇〇お〇の(21年)中の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	庁業度国。テー庁みテめ事課日あるき日修つ開の務実人 ムーに要ムた業等を。課なををい庁市運施登のので性に。の等問特上で問行でに民営予載ではついはつ、取られに上げたかっはつ	そへの間には、 は、のの間のでは、 でのでのでいる。は、 は、。は、 は、。は、 は、。は、 は、。は、 は、。は、 は、。は、 は、は、 は、は、 は、は、 は、。。は、 は、。。。。。。。。。。	人開台ス 連 よ 解い用はつい用 務で件開帳テ 課 よ 改 決て者実いて者 があずけ法 等 ペ 修 で	等のひと も 一 と で こ 施検を対 して いの関に連 め 等 る か して 討 どし れる して が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い か い い か い か い い か い い い い い い い い い	世 用対果の 無 所 に は き り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	でしたか)の向にかりでである。 たいのは、 ののでは、 の	となってくる。 日開庁の日 見則等の改正 な人員配置を 調査を行い円 か) お満足度の向と すか) 者満として関	(住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る) (日本の数は、1) (日本のは、1) (日本の
夫·課題等	点 創夫の 21 東 21 東 21 東 第 東 第 東 第 東 第 東 第 東 第 東 第 東 の の の の の	〇円〇台能〇〇お〇の(21年)中の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	庁業度国。テー 庁必テめ事。日もは、き日修つ開テーの務実人 ムーに要ムた業等をる課なををい庁ム市運施登 の つ性に。のの問等のか問行てに改良営予載 改 いはつ 取っわにばったわっはつ修	Rへの確保住・ のでのではるい 相曜で、世界ではるではるでは、 にはるでは、 はるではるでは、 はなでは、 はなではなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなでは、 はなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなではなでは	人開台ス 連 よ 解い用はつい用 務で件開帳テ 課 よ 改 決て者実いて者 があずけ法 等 ペ 修 で	等のひと も 一 と で こ 施検を対 して いの関に連 め 等 る か して 討 どし れる して が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い か い い か い か い い か い い い い い い い い い	世界の 関用対 開用対 にはいりには、 にはいりには、 にはいりには、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	でしたか)の向にかりでである。 たいのは、 ののでは、 の	となってくる。日間等の改正見則等の改正ない。 見則等の改正ない。 別別のでは、調査を行いいのでは、 は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	(住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る) (日本の数は、1) (日本のは、1) (日本の
夫·課題等 改善状況	点 創夫の 21 東 21 東 21 東 第 東 第 東 第 東 第 東 第 東 第 東 第 東 の の の の の	〇円〇台能〇 お○のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	庁業度国。テー 庁必テめ事。日もは、き日修つ開テーの務実人 ムーに要ムた業等をる課なををい庁ム市運施登 の つ性に。のの問等のか問行てに改良営予載 改 いはつ 取っわにばったわっはつ修	RAOの確保住・ のでのでいるい 組曜、曜日のではるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はいが はいでは、 はいが はいでは、 はいが はいでは、 は	人開合ス 連 よ な 解い用はつい用 務でら ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	等のひと も 一 と で こ 施検を対 して いの関に連 め 等 る か して 討 どし れる して が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い が の 迅 い か い い か い か い い か い い い い い い い い い	費用対象の 無用対象の 無性的 にはいいのの にはいいの には	したか)の情とです。 には、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	となってくる。日間等の改正見則等の改正ない。 見則等の改正ない。 別別のでは、調査を行いいのでは、 は、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	(住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る可能) (住民基本数が減る) (日本の数は、1) (日本のは、1) (日本の
夫·課題等 改善状況	点 割き・工 のは 21年果 解問 解問 の が が の の の の の の の の の の の の の の の の	〇円〇台能〇 お○のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	庁業度国。テー庁必テめ事課日あまき日修つ開テー評の務実人のに要ムた業等を。のか問行てに改価す運施登ののではに。のの問特上でもでに改価に営予載でいなつ。取らわには、たわっはつ修一	RAOの確保住・ のでのでいるい 組曜、曜日のではるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はいが はいでは、 はいが はいでは、 はいが はいでは、 は	人開台ス 連 ー は 解い用はつい用 務でら   合件開帳子 課 ム 改 決て者実いて者 があの   又曹庁法と 等 ペ 修 で	等のひと も 一 と き さ がして うこ える未の関に連 が 等 る か して討 どし れ 扇の関に連 が か い ひ で か で ひ か で ひ か で で か で で か で で で で か で で で で	世界の 関用対理シスに 関わらい 関わらい 関わらい 関わらい 関わらい にでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	したか)のにはいいのは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののない、 のの	とないの日間には、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	(住民基本 (住民基本 ) (住民基本 ) (付) (付) (付) (付) (付) (付) (付) (付) (付) (
夫·課題等 改善状況	点 創意・課善度 21年果 未解問 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対 ・対	〇円〇台能〇 お○の(21 ♥ ) ののとし、	庁業度国。テー庁がテめ事。ヨロらいき日修つ開テー評しているの務実人のでは、こののでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、	RAOの確保住・ のでのでいるい 組曜、曜日のではるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はるでは、 はいが はいでは、 はいが はいでは、 はいが はいでは、 は	人開台ス 連 ー は 解い用はつい用 務でら   合件開帳子 課 ム 改 決て者実いて者 があの   又曹庁法と 等 ペ 修 で	等の改ともしとできる大きの政のというでは、おいいの対に連ばれる。対して対としれ、開解の関に連ばれている。は、これに対しては、これに対しては、これに対しては、これに対しては、これに対しては、これに対しては、	世界の 関用対理シスに 関わらい 関わらい 関わらい 関わらい 関わらい にでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	したか) い) に た の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	となってくる。日間では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	(性が) (住が) (住が) (住が) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大